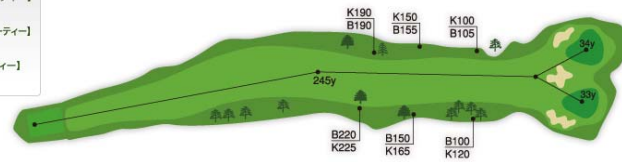


HOLE No.1

PAR5 H15

【フロントティー】
B 481
K 486
【レギュラーティー】
B 495
K 500
【バックティー】
B 509
K 514



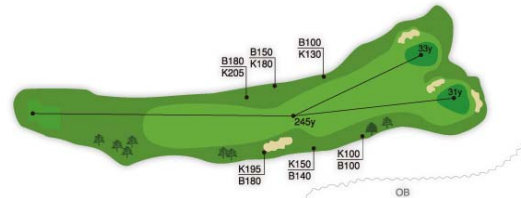
ロングホールだが距離はそれほど長くはなく、またフェアウェイ上には木も少ないのでセンター狙いで攻めればパーは取りやすい。ティーショットは右に曲げるとラフから林に転がりやすいので要注意。セカンドショットは高麗、ベントともセンターに落とし、花道から攻めるのがベスト。グリーン手前の2つのバンカーはいずれも浅くできているが、ピンの位置によってはバンカーから中距離になり、グリーンオーバーは寄せが難しくなる。



HOLE No.2

PAR4 H3

【フロントティー】
B 356
K 372
【レギュラーティー】
B 394
K 410
【バックティー】
B 405
K 421



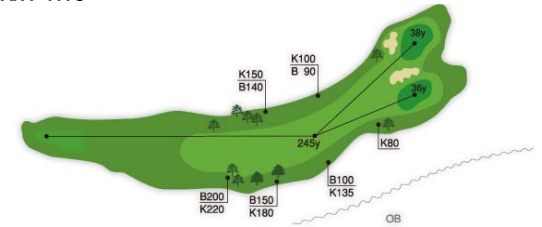
右のサイドバンカーはロングヒッターなら届く距離なので、曲げないように注意。ただしベントの場合、あまり左に打つとセカンドでグリーンを狙えなくなってしまう。センターからやや右目が狙いどころ。高麗グリーンの場合は、グリーン手前110ヤードの右ラフに入るとサードショットが難しくなるので絶対に避けたいところ。グリーンは奥に下がっているため、アプローチは高く打って球を手前に止めるのがポイントになる。



HOLE No.3

PAR4 H13

【フロントティー】
B 316
K 338
【レギュラーティー】
B 335
K 357
【バックティー】
B 355
K 377



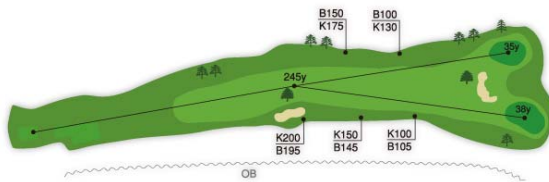
やや左ドッグレッグのミドルホール。ティーショットはセンター狙い、特に高麗は左を狙いたいところだが距離が足りないと前方の松にさえぎられてセカンドが打てなくなる。右はやや前上がりなので、クラブの選択と距離の計算に注意。グリーンサイドのバンカーはどちらも深め、またベントは手前が右に傾斜しているため、特に方向を慎重に。



HOLE No.4

PAR4 H1

【フロントティー】
B 323
K 334
【レギュラーティー】
B 416
K 427
【バックティー】
B 448
K 459



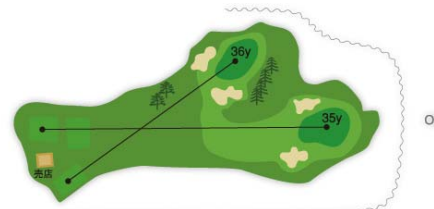
アウトのミドルホールの中では最も距離の長い難所。ティーショットはフェアウェイ中央のケヤキの左狙い。右はバンカーとさらに樹木があるので、なんとしても避けたいところ。距離がたっぷりあり、飛距離に自信のあるプレーヤー以外は最初から3オン狙いで攻めるのが無難。特に、グリーン手前中央のバンカーからグリーンまでは40~50ヤードあるため、ここに入ると寄せに苦労する。高麗グリーンは奥に向かって長く、また右が下がっているため、ピンの位置をしっかりと確認しておく必要がある。



HOLE No.5

PAR3 H11

【フロントティー】
B 131
K 189
【レギュラーティー】
B 137
K 191
【バックティー】
B 148
K 202



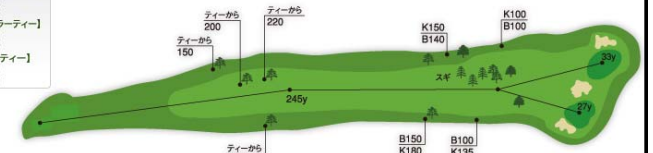
高麗とベントでは攻め方がまったく違うショートホール。高麗グリーンは奥が高く受けているため球は止まりやすいが、距離が短いと右のバンカーに入りやすい。また風の影響が大きく、特に冬はアゲインストが多いのでクラブの選択を慎重にしなければならない。ベントグリーンは距離が短く、比較的やさしいが、左は避けたほうが安全。バンカーを超えてラフに入ると樹木も多く、寄せが難しくなる。



HOLE No.6

PAR5 H9

【フロントティー】
B 458
K 485
【レギュラーティー】
B 503
K 530
【バックティー】
B 529
K 556

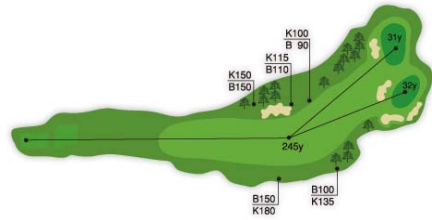


最も距離のあるホール。ティーショットは思い切り打てるが、狙いは松の木のやや右。セカンドショットでは、フェアウェイを二分する杉並木がポイントになる。高麗グリーンの場合、杉並木の左を狙いたくなるが、木が立ちふさがりサードショットで苦労する危険が大きいだけに、やはり杉並木の右に落としておくのが無難。ベントの場合も同様、セカンドのフェアウェイウッドの使い方が大きなカギとなる。また、ロングヒッターは正面のケヤキに注意。落とすところによってはスタイミーになる可能性が大きい。



HOLE No.7 PAR4 H5

【フロントティー】
B 333
K 353
【レギュラーティー】
B 349
K 371
【バックティー】
B 377
K 399

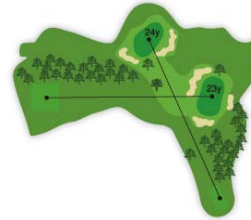


ティーショットはやや右に落とすのが安全。左に曲げると、高麗グリーンの場合、セカンドでグリーンを狙うのは困難。特にピンが左にある場合はますます難しくなる。右がたっぷり広いだけに、ここはやはり右めに落としておくのが確実だ。グリーンは、高麗は幅はあるが奥行きがないので、グリーンオーバーに注意。またベントは、右に押し出すとガードバンカーにつかまってしまう。



HOLE No.8 PAR3 H17

【フロントティー】
B 138
K 144
【レギュラーティー】
B 153
K 153
【バックティー】
B 170
K 166

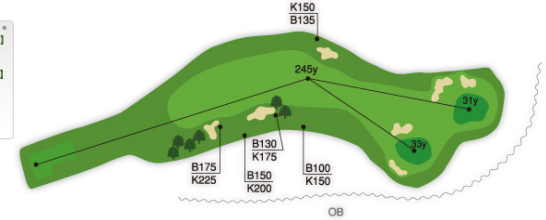


2グリーンではあるが、攻め方は1グリーンそのものである。高麗グリーンは幅があり、ピンの位置によって難易度がまったく違うが、安全策を採るとすればグリーン中央狙いが無難。特にグリーンをオーバーすると奥のバンカーに入りやすく、アプローチが難しくなる。ベントは受けグリーンだが、球が低すぎると手前のバンカーにつかまりやすい。高く上げて止める球がベスト。左花道からころがして乗せるのもわるくない



HOLE No.9 PAR4 H7

【フロントティー】
B 338
K 371
【レギュラーティー】
B 355
K 388
【バックティー】
B 372
K 405

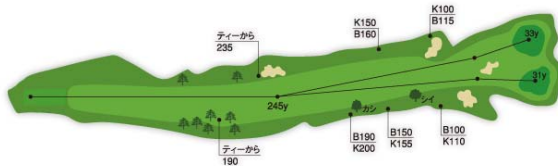


やや右にドッグレッグしているがパーの取りやすいホール。セカンドショット次第ではバーディも狙える。ティーショットは左奥バンカーが狙い目。ただしハードヒッターは、やや右を狙った方が安全である。高麗グリーンは、セカンドを手前のバンカーに入れやすいので注意。また、手前からのパットはショートしやすいので、強めに打つようにしたい。



HOLE No.10 PAR5 H8

【フロントティー】
B 477
K 477
【レギュラーティー】
B 492
K 492
【バックティー】
B 514
K 514

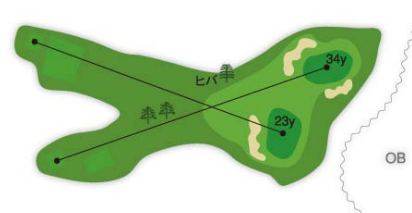


ロングホールとしては距離は決して長くない、比較的パーがとりやすい。ロングヒッターにとっては醍醐味のあるホールだ。とはいえ大きなスライスやフックは禁物。あくまでもフェアウェイセンター狙いが基本となる。特にティーショットでスライスすると、右の林の中まで転がってしまう可能性が大きい。セカンドは左のバンカーさえ注意すれば比較的打ちやすく、サードショットはグリーンオーバーを避けること。障害物はないが、ピンに寄せるのが難しくなる。



HOLE No.11 PAR3 H18

【フロントティー】
B 170
K 147
【レギュラーティー】
B 180
K 165
【バックティー】
B 197
K 180

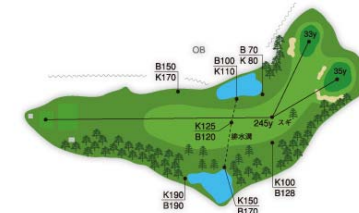


ショートホールは、面積に余裕があつてはじめて可能な独自の設計。他のショートホールと同様、高麗グリーンとベントグリーンとはティーグラウンドがまったく別に設けられている。高麗グリーンは距離は長くはないが、グリーンオーバーはOB線が近いので要注意。左側に花道があるが、左へ傾斜しているのでこぼれやすい。またグリーンには微妙なアンジュレーションがあり、タッチが難しい。ベントグリーンは距離もあり、曲げると左右のバンカーに入りやすい。幅も決して広くないので、方向に注意したい。



HOLE No.12 PAR4 H6

【フロントティー】
B 308
K 303
【レギュラーティー】
B 324
K 319
【バックティー】
B 339
K 334

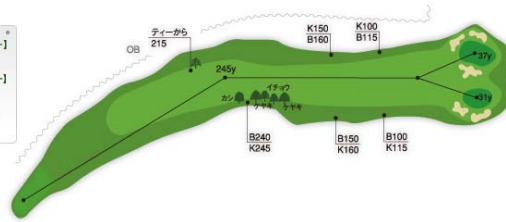


距離は長くないが、左右から池が迫り、ティーショットはプレッシャーがかかる。ティーショットは右のカシの木狙いが安全。ただし、フェアウェイセンターでも飛距離が出ないと、セカンドショットはかなりの打ち上げとなる。高麗は絶対に右に曲げないことがカギ。距離が出ないときのセカンドショットは左下がりになるので右に出やすい。



HOLE No.13 PAR5 H12

【フロントティー】
B 478
K 478
【レギュラーティー】
B 500
K 500
【バックティー】
B 514
K 514

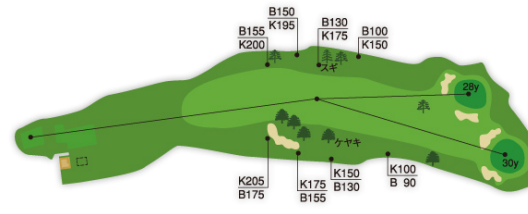


右にややドッグレッグ、グリーンはブラインドになっているので、ティーショットの目標は松のやや右目がベスト。右に曲げるとケヤキやイチョウが障害になってグリーン方向は狙えない。反対に左は松のところから下りでラフへ。高麗、ペントともグリーンはバンカーで囲まれているが、セカンド、サードショットは比較的打ちやすい。それだけにティーショットの方向が大きなポイントになる。



HOLE No.14 PAR4 H2

【フロントティー】
B 329
K 367
【レギュラーティー】
B 356
K 394
【バックティー】
B 383
K 421



右サイドバンカーは十分に越えられる距離だが、4本のケヤキが立ちふさがっているため、ティーショットは一番内側のケヤキの左側がベストポジション。ただ、飛距離に自信のあるロングヒッターなら、ここは一発バンカー超えを狙いたい。ペントの場合、セカンドショットは短い、手前の松がクセ者。バンカーも浅くはないので、高い球で超える自信がなければ3オン狙いのほうが安全である。



HOLE No.15 PAR3 H14

【フロントティー】
B 132
K 154
【レギュラーティー】
B 137
K 189
【バックティー】
B 147
K 190

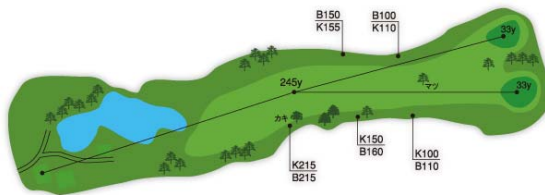


高麗、ペントともに池越えのショートホール。池には噴水があり美しいホールだが、その反面、非常に難しい。高麗グリーンは中央花道の左に大きなツバキ、右には受け口のバンカー。右にはずしても寄せはそれほど難しくはないが、オーバーすると寄せで球が止まらない。ペントともグリーンは手前から奥に30ヤード近くあり、ピンの位置によっては一番手は違う。風の計算とクラブの選択は慎重に。



HOLE No.16 PAR4 H4

【フロントティー】
B 399
K 404
【レギュラーティー】
B 432
K 437
【バックティー】
B 485
K 460

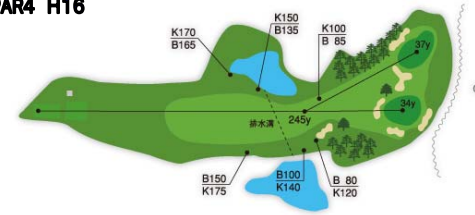


距離のたっぷりあるミドルホール。フェアウェイにバンカーはないが、ティーショットは左の池にまどわされやすい。また落下地点付近はアップヒルで、特に左半分はランがない。反対に右半分はランはあるが、セカンドショットで立ち木が気になる。ここはやはり、やや左狙いが安全だ。グリーンサイドにバンカーはないが、そのかわりに要所要所に松の木があり、落とすところによってはスタイミーになることも。距離に自信がなければ、最初から3オン狙いで攻めるのが賢明。



HOLE No.17 PAR4 H16

【フロントティー】
B 299
K 325
【レギュラーティー】
B 317
K 344
【バックティー】
B 339
K 366

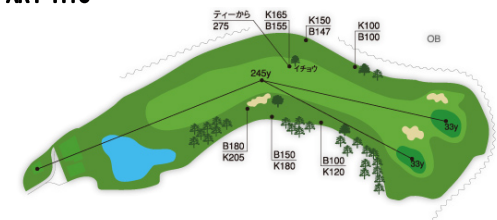


ティーショットは立ち木もバンカーもないが、そのかわり左右の池がプレッシャーをかける。とりあえずはセンター狙いがベストだ。またロングヒッターは正面のバンカーに注意。フェアウェイ中央が低く、上がりきったところがグリーン。ピンの位置を見極めないと距離間が難しい。特に、中央にあるバンカーに入ると寄せが困難。距離が短いので油断しがちだが、ピン位置によっては極端に難しくなるホールだ。



HOLE No.18 PAR4 H10

【フロントティー】
B 377
K 399
【レギュラーティー】
B 390
K 412
【バックティー】
B 427
K 448



右にドッグレッグ、サイドバンカーは十分に届く距離にあり、その先は大きなケヤキがあるので、ティーショットはやや左目が狙い。ただし左に大きく曲げると林が深い。あまり右に打つとペントではグリーンが狙えない。ロングヒッターでも曲げてしまうと必ずしも有利とはいえないホールだ。グリーンは高麗、ペントとも奥に長い幅が狭いので、正確なショットが要求される。特に高麗は中央が高くなっているため、ピン位置によっては3パットも覚悟しなければならない。

